



「新しい生活」

ローマ書12…1〜8

牧師 安藤 脩

2015年が始まりました。多くの人が新しい気持ちでスタートしたことで、その現われが、この世の人にとっては神社に行くこと、そして、神に守りと祝福を願い求めることだったでしょう。魔よけと思って破魔矢を買って帰る人に多く会いました。新たな思いで「こうしよう!」と決心した人もいたでしょう。でも、大部分の人は「あのようになって欲しい」「このように変わって欲しい」と、この世や、周囲の状況、他者が変わって欲しいとの願いではないでしょうか。昨年、の終わりに、洗礼を受け、新しいスタートを切った一人の姉妹がいます。今ここで礼拝を共に守っている大部分の人、彼女と同じ体験を持っていることでしょうか。この新しいスタートは、この世の人とどこが違うのでしょうか。「自分が変わる」というところです。

2015年春号

日本キリスト教団
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL045(751)3917

牧師

安藤 脩

洗礼を受けるとは、古い自分に死んで、新しい人となるということです。イエス・キリストの心をもって生きようとの決心です。「わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためです。」(ローマ6…4)と記されていることが実現しているのです。このような体験者・キリスト者に「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」(…1)と言われます。自分の最も奥深い心は、自分では変えられません。だから、死んで復活なさった主キリストの前に出て跪くのです。復活なさった主に会う、これが礼拝です。キリスト者にとって主の日の礼拝は最も大事なことです。

自分で修行努力して変わるのではなく、「心を新たに自分で変えていただきなさい。」(…2)とは、「キリストの心を与えられなさい」ということです。これ

は既に神が与えてくださったているのですから、私たちが信仰をもって受け取ればよいのです。これが洗礼です。そうすれば「何が神の御心であるか、何が善いこととで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるように」(…2)なるのです。

そのように変えられ、人をイエス様の心で愛し、人に愛されるようになって、あなたが立派なのではありません。あなたの内にいるキリストが立派なのです。だから「慎み深く思うべきである。」(…3口語訳)と戒めています。キリスト者の謙遜の秘訣がここにありますが、そしてこれは、自分に欠けがあっても、不安に思ったり、卑屈になることもない秘訣でもあります。私たち人間は、誰も完全ではありません。神が賜物、才能を与えてくださるのです。その与えられているものを自分に出来る精一杯發揮する。そうすれば完全なキリストの体の一部の役目を果たすことが出来るのです。(…4〜5)何でも上手に出来る必要はないし、また出来ないのです。与えられた恵み、賜物を、力いっぱい、積極的に、快く行えばそれで十分です。そうなるために、私たちは主の前に出て跪き、礼拝するのです。新しい生活は礼拝から始まります。

証し

主のみちびき

関原 紀子



私は1996年12月22日、5名の方と共に、安藤先生より洗礼を授けていただきました。お一人

の方は天に召されましたが、今も4名、とても仲良く礼拝を守り、お交わりさせていただいています。常に神様のみちびきの中におりますが、特に受洗後、メッセージ、聖書研究等を通し、あの事、この事も、神様のご計画の中にあつたのだとわかってきました。

私は磯子小学校の近く「広地」で誕生しました。小さい頃から大変体が弱く、特に目が悪く、学校も休みがちでした。小学校4年生の時、クラスメートの家で開かれていた教会学校に出席させていただきました。主の祈り、讚美、聖書の輪読、聖書のお話がありました。高学年のクラスは尾花先生が担当くださり、クリスマス礼拝は、清水ヶ丘教会の教育館をお借りしたのを覚えています。5年生になり、父の転勤が始まり、教会学校から遠ざかりました。

中学2年の夏休みに、大和に引越しました。9月から学校が変わりました。引越した荷物片づけの中に、教会学校の時、使っていた聖書が目に残りました。(2学期からは学校も変わる。少し心新たに、聖書を読んでみよう。) そんな気持ちになりました。転校する不安もあつたのだと思います。夏休み中に読み始めましたが、残念ながら3日坊主でした。私は父の転勤のために、小、中、高校と入学した学校と、卒業した学校が違います。今思います時、よくいじめにも遭わず、体力も守られて、学生生活を過ごすことができましたこと、感謝しています。

今から50年前に、現在の場所に移り住みました。庭に出ますと、反対側の山の方から、子どものころ聞いた、聞き覚えのあるメロディーが聞こえてきます。3丁目の横浜岡村教会からです。私たちが子どもの頃、母は「山路越えて」「さまよう人々」の讚美歌が好きで、よく歌っていました。母も子どもの頃、どれくらい教会に行つたのかわかりません。教会員の方から、讚美歌を教えてください、とお話を聞いたようです。

母は60才代に目の調子を悪くし、網膜色素変性症という、難病であることが分かりました。そんな中、教会に行つて讚美歌を歌いたいと言ひ出しました。母を車椅子に乗せて礼拝に出席しました。我が家で、初めに受洗したのは下の妹です。次に母が、野沢先生の時に受洗しました。

「ご一緒にどうですか。」とお誘いを受けましたが、何もわからず受洗するのは失礼と思い、お断りしました。母の受洗後、まもなく家庭集會が持たれるようになり、10年余り続きました。途中から父も参加させていただき、お交わりを楽しみにしていました。信仰的に揺れ動いていた父も、病床洗礼を安藤先生より受け、救われました。父の死を通し、私たちの受洗となりました。このように、神様の導き、多くの方の祈りにより、クリスマスヤンホームとなれましたこと、感謝しています。これから先の信仰生活も、受洗の時の気持ちに立ち返り、十字架を見上げて歩み続けられますよう、祈ります。

「主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。」

2014年 横浜岡村教会クリスマス 平和を祈るクリスマス

平野 耕太郎

今年も横浜岡村教会ではイエスさまのご降誕をお祝いする諸行事が開かれました。待降節へと入る11月最後の礼拝から講壇に蝋燭が灯り、各有志による特別賛美や詩の朗読が行われました。この日の夕方にはツリー点灯式も行われました。

クリスマス礼拝では、これまで熱心にジュニア・チャーチへ通い続けてきた田原寧々姉の洗礼式が行われました。実際にはインフルエンザの治療の為1週間遅れての洗礼式となりましたが、皆さんで感動と喜びのうちにお祝い出来ました。クリスマス祝会では、皆さんご自慢の料理を持ち寄り、豪華な愛餐会となりました。各会による賛美やペープサート劇の他、有志による出し物で佐野兄による尺八演奏と佐藤つる姉による初の三味線演奏が披露され、大いに盛り上がりました。クリスマス・イブには、今年もわかえだ会主催のヤングクリスマス会が開かれ、多くの子ども達も参加しました。イブ礼拝では、子ども達がイエスさまのご降誕

を劇で再現。大人から子どもまで皆でイエスさまのご降誕をお祝いする事ができました。



ヤングクリスマス会



持ち寄り愛餐



カレブの会の讚美



マリア会によるペープサート



作業所横浜ろばの店・クリスマス会全員さんび

田原寧々姉の受洗

去る12月28日(日)に田原寧々姉が、洗礼を受けられました。今、大きな喜びが教会にあります。寧々姉は今小学校6年生ですが、幼稚園からミッションスクールに通い、又、教会には岡村に通うようになりました。3年生の頃から夏、松原湖バブルキャンプに行くようになり、洗礼の事を考えるようになったようです。田原さんの証しは次号に載ります。ご両親はまだクリスマスチャンではありませんが、寧々さんが初穂となって、田原家のみな祈って行きたいと思えます。

安藤 善枝



初めての降誕劇

鈴木 恵

息子が昨年4月よりお友達と一緒にJ
Cに通い、今年初めてイブ礼拝の降誕劇
に参加しました。最初は「やだ！」とい
っていたのですが、どうにか羊飼いをや
ってくれることに。半分遊びながら、半
分恥ずかしがって、練習の時を過ぎてし
ていました。私も音響担当で、練習に参加
していましたが、家で息子と台詞の練
習を間際になってですが、しました。本
番で別のお友達の台詞も言っているのを
見てびっくりしました。あとで知ったの
ですが、急にお友達が来れなくなつて自
分から代わりにやってもいいよ！と言つ
たらしく、今までの息子からは考えられ
ないことに嬉しく思いました。イエス様
のご降誕をお祝いするクリスマスの意味を思
劇を見て、本当のクリスマスの意味を思
い、また、今年は息子が劇
に出る事もあり、主人と義
母も最初からイブ礼拝を守
ることが出来ました事、感
謝です。



イブ礼拝に参加して

岩田 宏子 (横浜に在る教会)

イブ礼拝にこの度も参加出来ました。
教会学校の可愛らしい子供たちによる聖
誕劇を楽しく見ました。又、小・中の女
生徒さんが3人で講壇に立って司会役を
務める姿はとても新鮮に映り、親しみの
もてるものでした。

クリスマスの讃美歌のメロディーは諳
んじていますので、聖歌隊の合唱に合わ
せて歌ったり、歌詞を表示するスクリー
ンの突然の故障にも関わらず、安藤牧師
の歌詞の先導によって、どの歌もとどこ
おりなく、参加の方々と共に、喜びを以
って歌いました。イブ礼拝の一員に加え
て下さった主に感謝します。

又、岡村の泉冬号を頂いていましたの
で、安藤脩牧師の「わたしの魂は主をあ
がめ」(ルカ福音書1:47-56)を読ん
で、ヨセフとの婚約の喜びの日々を過ご
しているマリアが、天の御使いから「受
胎告知」を受けた時、2000年前のイ
スラエルの時代環境に在って、一人の女
性の身で、どんなに恐れやとまどいを覚
えたか、その心情を思いやる事が出来ま
した。しかし、「聖霊があなたに降り、

いと高き方の力があなたを包む。だから
生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれ
る。」との御使いの告知を信仰によって
受け入れた時、マリアの内側から力強い
賛歌マグニフィカートが進り出たのです
ね。
マリアの賛歌
に思いを馳せ
たクリスマス
でした。



イブ礼拝での子ども達によるページェント

受洗者・成人者

お祝い会

井上 義勝

横浜岡村教会は1月18日(日)午後1時からJ.Cの子供達も出席して、受洗者・成人者お祝い会を開きました。

受洗者の田原寧々さん(小6)は、昨年12月28日(日)に受洗されて、私達と兄弟姉妹になりました。洗礼式では大人ばかりの中で、緊張しているようでした。

今日の祝会では、わかえだ会とJ.Cのスタッフから、お祝いの言葉や花束をいただきました。それに、J.Cのお友達一人一人から「おめでとう」と、言われたときには、はにかんで頬を赤らめています。

新成人の坂本喜哉さんは、都合が悪く欠席されました。代わりに父親の坂本浩兄が成人者席について、わかえだ会から花束と祝いの言葉をいただいて、とても照れくさそうでした。そして、息子喜哉さんから託されてきた、感謝の手紙を読



まれました。

今回は子供達も

出席されていて、和やかで楽しいお祝い会でした。

主の恵みに感謝いたします。

「信徒研修会」に参加して

今給黎 美代子



2月8日(日)午後、「病める心に接する」と題して、講師、安藤牧師による、信徒研修会が持たれました。今日の日本社会は、人との交わりが希薄になり、孤独になり、精神を病む人が増加しています。教会が病んでおられる方の心より所となるためには、どのような洞察力をもって接していくべきでしょうか。真の休息、真の人生の目標を見いだしていく鍵は聖書の中にあります。病める方との出会いは、神様が与えて下さいます。出合いを大切にして、偏見にとらわれず弱さを受け入れて、本気で聴き、人間的な温かさをもって相談役となることが大切である事を学びました。静まって、神様の御心に聴いて、信仰

に裏打ちされた知恵によって共に歩み、真の「こころの友」となって行こうと思いました。

「信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせて下さいませ。」 ヤコブの手紙5章15節

病める心へのアプローチ

精神科医師・柏木哲夫氏の著書より

心の病める人の回復のためには、真の人生の目標を問い直す必要があります。病める人を援助するためには、信仰に裏打ちされた知恵と洞察力が必要です。最終的に真の休息、真の喜びと平安を与えてくださるのは神様です。

病む人に接する7ヶ条

1. 出会いは神が与えたものと考え、重要視する。
2. 受け入れられていることを知らせ、聞き上手になる。
3. 会話の内容より、感情を汲み取る。
4. 会話を持続させる工夫をする。
5. 相手の気持ちを受け入れ、感情の表現を促進する。
6. 理想的な相談役となる。
7. 本人の家族とコンタクトを持つ。

三教会婦人交流会に参加して

関原 孝子

2月7日(土)三教会婦人交流会が、清水ヶ丘教会で持たれ、安藤牧師と12名の姉妹方と出席させて頂きました。天候も守られ、参加者総勢51名が、8グループに分かれ、「コヘレトの言葉4・9・12」の個所から聖書の学びを致しました。中島牧師は、日本古来の諺や、朝ドラ「マッサン」のモデルの奥様(リタさん)の信仰のエピソードを交え、「三つ縋りの教会の恵み」を語って下さいました。継承を信じ続け、最後まで祈り続ける大切さを学びました。教会はベテラン、



清水ヶ丘教会・横浜菊名教会・横浜岡村教会 参加者全員で

中堅、新しい方、この3つが縋りあつて強くなり、三教会も互いにいとおしむなら、必ず発展するとお話し下さいました。お昼を頂きながら、班の方々とお交わりが出来ました。午後は各教会の婦人会活動の報告、班ごとで自己紹介し合い、祈りあいました。最後に午前中、中島牧師よりご指導頂いたゴスペルソング「主を仰ぎみて」を、全員で力強く讚美し終会となりました。



ゴスペルをみんなで歌いました

三教会子ども交わり会

森田 智美

毎年恒例三教会子ども交わり会。今年は清水ヶ丘教会で開催されました。内容は、様々なゲーム、ダンスを取り入れた賛美、聖書のお話等です。ゲームで正解したり、暗唱聖句が言えたり、子どもたちが何か出来る、用意された駄菓子と交換できる券が貰えます。未就学の子も

普段恥ずかしがり屋の子も上級生まで、みんなやる気満々で終始大盛り上がりでの会でした。

三教会の今後を担っていく子どもたち。今年度は岡村教会でもJ.Cから受洗者が出ました。子どもたちが楽しみながら教会のこと、イエス様のこと、そして三教会の繋がりを知り大切に出来るイベントになるよう、これからも三教会のスタッフの皆さんと力を合わせていきたいです。「そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。」(マルコ10..16)



楽しいプログラムが一杯

3～5月 行事予定

3月

- 1日 臨時教会総会 (役員選出)
- 7日 世界祈祷日
- 18日 三教会統一祈祷課題祈祷会
- 22日 JC スタッフ・役員任職式
- 29日 棕櫚の主日 (洗足礼拝)
- 29日 横浜地区集会
- 30日～4月2日 受難週祈祷会

4月

- 3日 受難日燭火礼拝
- 4日 拡大役員会
- 5日 イースター礼拝、餅つき会
- 26日 定期教会総会
- 29日 関東こころの友伝道講習会
(当教会を会場として)

5月

- 3日 責任役員任職式
- 10日 母の日親子礼拝
- 12日 三教会交流委員会 (横浜菊名)
- 14日 主の昇天日
- 17日 讚美礼拝、ミニ・チャペルコンサート
(演奏者・安田正昭氏)
- 24日 ペンテコステ礼拝

(毎月第1主日 聖餐式、役員会)
(毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓
(ジュニアチャーチ)

「子どもの力」

藤山 クニエ

例年のようにイブ礼拝は、JCと一緒に取り組み事に決まった。難航する配役決めも、今年は割合すんなり決まった。礼拝を休みがちな子が、大役を引き受けたのでちよつと心配。ヨセフ役はいつも最後に決まる。今回はお友達のお持ちを汲んで変えてあげる。やさしい思いやりが育っている。待望の男子3人組は「羊はいや！羊飼いをやりたい！」と言う。小学校に上がり、もううちっちゃい子ではないのだと言う自覚かな。本番一週前の礼拝には、インフ

ルエンザの為、多くのお友達が欠席。24日本番ギリギリに外出しても良いと言う子が何人もいました。神様は子ども達を励ましてくれました。子供たちは力を与えられ、家で練習してくれました。一人で独唱した子、お友達の名まで暗記して、スラスラと言いきったあの感動。パソコンの不具合で急遽、歌詞が出ないまま進んで行ったページェント。しかしそれがかえって素朴な味わいを出してくれたようです。逆境をはねのけて、堂々と演じてくれた子ども達。たくさんのご家族の方々にも心から感謝致します。



集会案内

- ◎イースター礼拝：4月5日(日)
AM 10:30より
お昼よりおもちつき
家族でおいで下さい
- ◎母の日親子礼拝：5月10日(日)
AM 9:00～10:00
- ◎讚美奉献礼拝：5月17日(日)
午後・ミニチャペルコンサート
安田正昭氏
- ◎ペンテコステ礼拝：5月24日(日)
AM 10:30～12:00



編集後記

まだまだ寒い日が続きます。教会の梅の木に花が咲き始めました。下にはフキノトウが顔を出しています。レントに入りました。イエス様のお苦しみを覚えて、日々過したいと思えます。15年春号も沢山の方々の寄稿に感謝致します。

(Y・A)

